

**保守物件**

- 20cmクレープ式天体望遠鏡
- 20cmクレープ・管理端末・画像データベース・CCDカメラサーバー
- ATS-3サーバー・ドーム連動・雨滴センサー・ビデオカメラ
- カラー冷却CCDカメラ
- カラー冷却ドーム
- 天体観測ドーム
- 天体観測に必要な定期消耗部品
- 点検整備に必要な定期消耗部品

**点検回数と仕様**

1. 保守を目的とした点検回数と仕様は下記の通り

**天体望遠鏡**  
※3回の定期点検を実施します。基本的には夜間の極軸調整が用途となります。20cmクレープ式望遠鏡本体はATS-3サーバー 管理端末 画像データベース CCDカメラサーバー カラー冷却CCDカメラドーム連動 雨滴センサー ビデオカメラの動作点検を含みます。

**天体観測ドーム**  
※1回の定期点検を実施します。

※保守回数は特に定めません。

**点検項目**

**1. 対象全対象の物件**

対象全としての点検は上記点検回数に基づき行われ、点検項目はチェックシートによる。尚、製品個々の型についての点検サイクルは点検サイクル表による。この時の対象物件はすべてについて同時期に点検が行われるわけではない。

**2. 対象全対象の物件**

等価機能の低下もしくは、故障による停止が発生した場合に復旧を第一と考え、速やかに対応を行う。対応は状況判断によっては遅延する場合もある。この時の対象物件は契約されたすべての製品を対象とする。

**3. 点検に含まれる項目と別途有料になる項目**

- 【対象に含まれる項目】
- ① 対象全作業すべて
- ② 天体観測サイクルの中で交換する部品は含まれる。(1年以上以内に寿命になる部品)
- ③ 使用済終了後1週間以内に発生した点検不良による故障修理及び諸経費。
- ④ 使用者の明らかな過失を除く)

【項目】

① 修理材料による主要部品の交換、修繕。

② 劣化による故障の修理費。

③ 別記に使用者の過失による故障の修理。

④ 別記に使用者が故意に改造を加えた機器に発生した故障の修理。

⑤ 点検報告書の中で特に寿命や安全性の低下により交換や買い換えを薦めたものに対する部品代及び

⑥ 点検費用。 (落雷, 地震, 洪水など)

⑦ 天災震災などの事故による修理費。

⑧ 天災震災などの事故による修理費。

⑨ 天災震災などの事故による修理費。

⑩ その他、契約に含まれる点検項目として“予防保全”と“事後保全”の2種類の形態がある。

注

「予防保全」とは、

機器の現状状態を維持し、故障にならないように劣化を最小限に防ぐ点検整備である。

業としては、清掃、注油、各ネジ部増し締め、動作確認チェック、保全データ測定、不具合部分の調整、修理である。

「事後保全」とは、

機器が異常な機能低下もしくは故障発生した場合に復旧修理を行う点検である。

これとしては、復旧のためのリモートサービス及び緊急対応としての出張修理がある。